

長く待ち望んできましたが、本当に良かった!!

阿寒本町地区で保育園業務が実質的にスタート



来年4月から、市立阿寒幼稚園が「認定こども園」に転換します。保育時間は一日5時間から最長11時間、土曜も可、給食も提供されます。阿寒町にはこれまで保育園がありませんでしたが、これで実質的に保育園の機能が保障されることになります。



阿寒の保育園のことでは いっぴい、思いが詰まっています

私が阿寒に移住した直後、妻が町議選に立候補。一番の公約は、「阿寒に保育園を」でした。教員の方が出産すると、阿寒に保育園がないので、転勤希望を出さざるを得ないという話を聞いたからです。当選はできませんでしたが、まもなく私たち家族が、その「保育難民」の当事者になりました。夫婦にとって待望の娘の誕生です。共稼ぎなのに、預ける保育園は無い。縁あって、釧路の無認可保育園に預けられることになりましたが、0歳から入学までは長距離登園。保育料も無認可でしたので、かなりの負担でした。この時期に妻が亡くなり、私と娘の二人三脚の生活が始まります。子どもが入学。放課後の学童保育も当時はありませんでしたので、やむなく学童保育がある釧路市に転居。市議として子育ての課題なども積極

的に取り上げ、「合併すれば阿寒町も行政区域。保育園はないがどうするか」と質問したのは、合併前の議会でのこと。平成19年6月には、「小さな自治体でもほとんど例外なく保育園はある。早い時期に阿寒本町に保育園の設置を検討すべき」と、正面から保育園開設を求めました。おそらく市議会本会議で、この問題が議論された最初の質問だったのではないのでしょうか。

認定こども園として、幼稚園と保育園の統合施設が可能となる中、大きく事態が動き、今日を迎えました。関係者、尽力いただいたみなさんに心からお礼を申しあげます。阿寒において保育園がないと言って苦勞する親子がもう生まれぬことを祈ります。私の娘はいま28歳になりました。

村上かずしげ

市立病院の 初診時選定療養費

市立病院を紹介状なしに受診すると「初診時選定療養費」が825円かかりました。これがR4年からは5千円に大幅値上げになります。

議会軽視に「喝」

この値上げは市立病院が、長年計画していた「地域医療支援病院」に指定されたからです。指定を受けると入院一回につき1万円の加算が付くなど、大きなメリットがあります。

しかし、その条件が初診時選定療養費の大幅値上げでした。市は値上げが必要なことをずっと秘密にして、地域支援病院の良い点だけを議会に説明。指定が決まったあとに突然、値上げを提案してきたのです。極めて不誠実です。



5千円に異議あり

矛盾する答弁で 委員会は紛糾

「妊娠して産科を受診するときに払わなければならぬのか」と質問すると、病院側は「払うことになる」と答弁。これは大変と、3日後の市長総括質問で、「産科は徴収すべきでない」と迫りました。すると市長は「徴収対象でない」と真逆の答弁、委員会は大混乱です。市長も大慌てで、「改めてきちんと対応します」と、市長総括の翌日に、委員会が再開される異例の展開となりました。



結局、妊娠・分娩は徴収しないことで確定。最初の答弁は誤りだったと謝罪がありました。議案として提案しながら、正確に答えられる準備すらできていなかったのは大問題です。村上議員が、「いったん議案を取り下げよ」と求めました。